

＝延岡市地域公共交通活性化協議会における協議事項に関する説明資料＝

■ 協議事項 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）について

「延岡市地域内フィーダー系統確保維持改善計画」（以下「計画」という。）の評価を別添「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」のとおり行いましたので、下記及び別添資料をご確認の上、承認・不承認の回答をお願いいたします。

1. 事業概要と分析

- フィーダー系統は、コミュニティバス・乗合タクシー、まちなか循環バスの合計 30 系統です。各系統の利用人数について、事前に当協議会で承認された目標をどれだけ達成したか評価しました。（下表および別添資料参照）

評価	系統数	割合
目標達成（100%以上、A 評価）	13 系統	43%
一部達成（80%以上、B 評価）	6 系統	20%
未達（80%未満、C 評価）	8 系統	27%
補助対象外（利用人数 2.0 人/回未満、D 評価）	3 系統	10%

- 13 系統が目標を上回った一方で、3 系統が 2.0 人/回未満（=利用人数 0 人で運行している便がある）であった等課題が残りました。沿線人口の減少などで利用者が減少していると推察されます。
- また、南部まちなか循環バスは C 評価となっており、北部と比較して利用が定着していないと推察されます。

2. 今後の改善点等

- 利用が低迷している路線においては、地域との意見交換会を実施し、運行形態の変更も含めた見直しを検討します。
- まちなか循環バスについては、8月の小学生運賃無料キャンペーンの実施やバスの乗り方教室、お出かけ企画等により利用促進を図ります。特に、南部まちなか循環バスは接続する南部乗合タクシー4 路線と併せて利用促進を図ります。
- このほか、介護予防事業であるケアプリのべおかや、まちなかで開催するイベントとの連携により利用を促進するとともに、地域公共交通計画および地域公共交通利便増進実施計画に基づき最適な路線の構築を目指していきます。